

環境活動レポート

～初期環境レビューから2004年度末までの環境活動結果のまとめ(2004.07-2005.02)～

事業所名及び代表者氏名	株式会社 ブリッジ・メタウェア 代表取締役 佐倉井 章
所在地	横浜市戸塚区品濃町548-2 東戸塚NSビル4F
環境管理責任者	
氏名	佐倉井 章
担当者連絡先	bm-ea21@bridgemw.co.jp



目次

No	項目名	ページ	参照添付資料
1.	事業概要	P3	
2.	環境方針	P3	A-1～A-4
3.	環境目標及び環境活動計画	P4	A-2～A-4
4.	環境目標とその実績	P4	B-1
5.	主な環境活動、計画の内容	P5	
6.	環境保全活動の取組み、結果の評価	P6	A-4
7.	環境関連法規への違反、訴訟等の有無	P7	

No	添付資料	ページ
A-1.	初期環境レビュー	P8
A-2.	環境への負荷の把握・評価項目の検討	P9
A-3.	環境への負荷の自己チェックの実施	P10
A-4.	環境への取組みの自己チェックの実施	P11
B-1.	環境数値目標の管理・集計方法	P12

改訂履歴 (作成・改訂の責任者:環境管理責任者)

No	改訂日	改訂者	改訂項目	改訂概要(理由・内容)
1.	2005/03/31	佐倉井	全項目	新規作成
2.	2005/06/22	佐倉井	全項目	EA21審査申請における見直し、再構成 ・「事業活動概要」の追加 ・「環境関連法規への違反・訴訟等の有無」項目に記録(2004年度)から廃棄手順を追加 ・添付資料の追加
				見直し、添付資料引用元: BM-EA21(エコアクション21)～新規構築～Version:V1.0(2004.07.08)[BM_EA21_build.pdf] 記録(2004年度)[BM_EA21_2004CAReport.xls]



1. 事業活動の概要

当社の事業活動の概要として

1)活動概要と2)活動規模 および 3)2004年度の活動特徴を記述しました。

1)活動概要

事業所名及び代表者名	株式会社 ブリッジ・メタウェア 代表取締役 佐倉井 章
所在地	横浜市戸塚区品濃町548-2 東戸塚NSビル4F
環境管理責任者 連絡先	代表取締役 佐倉井 章 電話/FAX:045-822-0780 e-Mail:bm-ea21@bridgemw.co.jp URL:http://www.bridgemw.co.jp/
事業内容	ソフトウェアの開発 ネットワーク技術支援 ホスティングサービス(2004年度～)

2)活動規模

年度(状態)	売上高(百万円)	従業者数(人年)	床面積(m ²)
2001年度	91	8	58.74
2002年度	84	8.5	58.74
2003年度	77	8	58.74
2001-2003年度(平均)	84	8.2	58.74
2004年度(期首)	82.5～	7～	58.74
2004年度(期末)	89	7.4	58.74

3)2004年度の活動特徴

ホスティングサービス等のサーバによるサービス事業活動

(サーバ群の消費電力及びそれらの使用環境温度調整のための温調消費電力が発生)

2. 環境方針

当社の事業内容及び初期環境レビュー結果(*1)から、環境負荷低減項目を、

■省エネルギー、■省資源、■廃棄物の分別、削減に定め、以下の環境基本方針を作成しました。

*1) 添付資料 A-1～A-4 参照

BM-EA21環境基本方針

株式会社 ブリッジ・メタウェアは、「問題、ニーズから本質的な解決、サービスを「メタウェア」として創造提供すること。」という企業理念と行動指針をもとに、地球環境の保全に関して自主的かつ積極的な取り組みを行います。

- 1.環境管理体制
環境担当役員を代表取締役とし、環境管理の責任と権限を明確にして、環境保全活動を推進します。
- 2.法規制の遵守
国や地方自治体等の環境規制を遵守するとともに、自主管理基準を定めて、環境保全に努めます。
- 3.環境負荷の低減
事業活動において、省エネルギー、省資源、廃棄物の分別、削減の目標設定と定期的見直しをおこない、継続的な管理と改善に努めます。
 - 1) 省エネルギー
■使用電力の情報収集を毎月行い、継続的な管理と改善に取り組みます。
コンピュータサーバ等の動作維持に必要な電気消費量は、その動作維持条件(台数、室温、湿度など)の見直し、照明を含めた節電や使用機器のエネルギー効率改善を含めた対策で取り組みます。
 - 2) 省資源
■事務用品等の購入明細の情報収集を毎月行い、継続的な管理と改善に取り組みます。
エコマーク商品の優先購入、特にパソコンの購入においてはPCリサイクル等のリサイクル対応商品を対象とします。
 - 3) 廃棄物の分別、削減
■規定した分別廃棄の実施と廃棄時の減容量化に取り組みます。
■分別種類毎に廃棄量(概算の容量及び重量)の情報収集を毎月行い、継続的な管理と改善に取り組みます。
- 4.教育訓練
毎月1回の定例会議での環境情報の提供により、環境保全に向けた全従業員の意識高揚を図ります。
- 5.社会との共生
事業活動の場の提供元との環境保全活動に協力します。
- 6.環境基本方針の公開
このBM-EA21環境基本方針は、社内外に公開します。

2004年6月末日 株)ブリッジ・メタウェア 代表取締役 佐倉井 章

3. 環境目標及び環境活動計画

環境方針、環境負荷及び環境への取組状況の把握・評価結果(*1)を踏まえて、表3.1の環境目標及び活動計画の策定を行いました。

*1) 添付資料 A-2~A-4 参照

表3.1 環境目標及び環境活動計画(2004年度)

環境目標及び環境活動計画	
環境目標	
単年度(2004年度)	
目標	環境経営システムの導入を行い初期環境レビュー(2001-2003年度最大値または平均値)*修正係数を上限に管理・改善を実施する
<二酸化炭素排出量>	使用電力の管理、節電 13.23 t-CO2 (2001-2003年度最大値)*1.4(修正係数) <電 力> 292.61KMJ (2001-2003年度最大値)*1.1(修正係数) <ガソリン> 26.38KMJ(2001-2003年度最大値)*2.5(修正係数)
<廃棄物排出量>	分別の徹底、産業廃棄物の管理 カン・ビン:84Kg(2001-2003年度平均値) 紙・プラ・厨芥:426Kg(2001-2003年度平均値)
<総排水量>	台所合成洗剤の低減、節水
中期(2005~2007年度)	
目標	環境経営システム見直しにより、2004年度管理実績を元に各項目の事業活動規模比で前年度10%削減を図る
環境活動計画	
期限	~2004/7E
担当	代表取締役
活動項目	EA21の自社導入(BM-EA21)
達成手段	エコアクション21(環境活動評価プログラム)2004年版の活用
期限	~2005/2E
担当	環境管理責任者
活動項目	初期環境レビュー値から目標を設定し管理・改善を実施する
達成手段	管理情報の収集と対策・手段
1) 省エネルギー	■使用電力の情報収集を毎月行う コンピュータサーバ等の動作維持に必要な電気消費量は、その動作維持条件(台数、室温、湿度など)の見直し、照明を含めた節電や使用機器のエネルギー効率改善を含めた対策を行う
2) 省資源	■事務用品等の購入明細の情報収集を毎月行う エコマーク商品の優先購入、特にパソコンの購入においてはPCリサイクル等のリサイクル対応商品を対象とする
3) 廃棄物の分別、削減	■規定した分別廃棄の実施と廃棄時の減容量化を行う ■分別種類毎に廃棄量(概算の容量および重量)の情報収集を毎月行う

4. 環境目標とその実績

2004年度単年度の環境目標とその実績を、表4.1に示します。

表4.1 2004年度(2004年3月から2005年2月)の環境目標とその実績

分類	項目	*1) 管理目標	*2) 実績	実績/目標
総エネルギー投入量	購入電力	321.871[KMJ]	320.88[KMJ]	99%
	化石燃料(ガソリン)	65.95[KMJ]	34.453[KMJ]	52%
総物質投入量	資源投入量	426[Kg]	237.44[Kg]	56%
【温室効果ガス排出量】	【二酸化炭素】	18,522[t-CO2]	16,275[t-CO2]	88%
【廃棄物等総排出量】	再生利用(缶、瓶)	84[Kg]	30.95[Kg]	37%
	単純焼却	426[Kg]	256.1[Kg]	60%
	紙	99	93	94%
	厨芥	253	116.85	46%
	ペットボトル、プラ	74	46.25	63%
	産業廃棄物	500[Kg]	590.6[Kg]	118%

購入電力は、電灯(O1)、動力(O2)、電灯(11)の分類で計測されています。(*3)
動力(O2)では、サーバ使用環境維持のための24時間温調の実施で大幅に増加(2003年度比で175%)しましたが、
電灯(O1)では、節電消灯継続の結果、削減(2003年度比で95%)が実現できました。

*3) 添付資料 B-1 参照

*1) 管理目標

■2004年6月の初期環境レビューから設定した初期目標に対し、2004年7月から3ヶ月の実績収集を行い、見直しを行いました。見直し後の目標(初期目標に実績、実情を加味した係数修正を算出して設定)が管理目標に記載した値です。見直しの内容を下表4.2に示します。

表4.2 管理目標の見直し(2004年9月末)

項目	管理目標	初期目標値	修正係数	修正係数適用理由
購入電力	321.871[KMJ]	292.61[KMJ]	1.1	サーバ管理24時間温調継続
化石燃料(ガソリン)	65.95[KMJ]	26.38[KMJ]	2.5	集計対象の拡大(1台->3台)
資源投入量	426[Kg]	426[Kg]	-	
【二酸化炭素】	18,522[t-CO2]	13,233[t-CO2]	1.4	電力、燃料、産業廃棄物見直しによる
再生利用(缶、瓶)	84[Kg]	84[Kg]	-	
単純焼却	426[Kg]	426[Kg]	-	
	紙	99	99	-
	厨芥	253	253	-
	ペットボトル、プラ	74	74	-
産業廃棄物	500[Kg]	50[Kg]	10	リサイクル廃棄業者選定での廃棄実施

*2) 実績

■購入電力と化石燃料(ガソリン)は、すべて請求書または経費申請時のレシート明細からの値を採用しました。
■廃棄物排出量は、2004年3月から6月の初期環境レビュー前は、重量計測値がありませんでしたので、PPC用紙購入実績から重量を算出し、それら重量分がすべて廃棄されたものとして各月の紙廃棄重量としました。
厨芥(吸殻、茶殻)、ペットボトル、廃プラについては、紙類の廃棄分との推定比率で重量を算出しました。
■産業廃棄物は、コンピュータや電話・FAX・プリンタなどのOA機器類を中心としたもので、廃棄伝票等要件を満たしたリサイクル廃棄業者へ依頼したものをすべてを対象として重量を計上しました。リサイクル廃棄処理では、金属と廃プラに分類されますが、全てを廃プラ重量として二酸化炭素の排出量へ換算計上しました。
■二酸化炭素の排出量は、以下の要素から算出しています。
購入電力+化石燃料(ガソリン)+
一般廃プラ(廃棄物におけるペットボトルと廃プラ)+産業廃プラ(産業廃棄物)

5. 主な環境活動、計画の内容

策定した2004年度の環境活動計画(表3. 1)に従って、実施を行った主な環境活動とその成果を下表4. 1に示します。

表4. 1 環境活動計画の実施とその成果

計画	期限	～2004/7E
	担当	代表取締役
計画	活動項目	EA21の自社導入(BM-EA21)
	達成手段	エコアクション21(環境活動評価プログラム)2004年版の活用
実績	環境活動内容	「エコアクション21 2004年度版 環境経営システム・環境活動レポートガイドライン」に従って自社環境管理システム(BM-EA21)を新規構築するに当たり各ガイドライン項目の主旨を踏まえ、対応適用の内容を整理記述した。(自己チェック、初期環境レビューを含)
	進捗・成果等	<ul style="list-style-type: none"> ■EA21の自社導入書を作成:「BM-EA21(エコアクション21)～新規構築～」(Version:V1.0 2004.07.08) ■環境基本方針の自社ホームページへの掲載を実施 ■記録(自社導入書に記載の項目)の開始、継続
計画	期限	～2005/2E
	担当	環境管理責任者
計画	活動項目	初期環境レビュー値から目標を設定し管理・改善を実施する
	達成手段	管理情報の収集と対策・手段
計画	1) 省エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> ■使用電力の情報収集を毎月行う コンピュータサーバ等の動作維持に必要な電気消費量は、その動作維持条件(台数、室温、湿度など)の見直し、照明を含めた節電や使用機器のエネルギー効率改善を含めた対策を行う
	2) 省資源	<ul style="list-style-type: none"> ■事務用品等の購入明細の情報収集を毎月行う エコマーク商品の優先購入、特にパソコンの購入においてはPCリサイクル等のリサイクル対応商品を対象とする
計画	3) 廃棄物の分別、削減	<ul style="list-style-type: none"> ■規定した分別廃棄の実施と廃棄時の減容量化を行う ■分別種類毎に廃棄量(概算の容量および重量)の情報収集を毎月行う
	実績	<p>情報の収集と毎月の集計</p> <p>使用電力(量、金額)、ガソリン(量、金額)、事務用品、コンピュータ備品等の購入品(重量、金額、エコ商品の有無)</p> <p>分別(紙類、厨芥類、ペットボトル、廃プラ)廃棄時の(重量、容量)</p>
実績	省エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> 温湿度計の配置(事務所内:中央、サーバラック内)と温調設定値の調整 温調冷気噴出し部からサーバラックへの冷気経路ダクトの設定 無人箇所の照明消灯による節電 サーバマシンのリース化による新機種への一括更新
	省資源 廃棄物の分別、削減	<ul style="list-style-type: none"> エコマーク、グリーン商品の優先購入 分別単位の廃棄箇所の設定、ペットボトル・缶の減容プレス購入 OA機器等リサイクル廃棄委託業者の選定(廃棄物管理票発行要件)
実績	進捗・成果等	<ul style="list-style-type: none"> ■毎月の収集情報にて環境月次レポートの作成と自社ホームページへの掲載を実施 ■温調の制御設定値の把握(4. 5～4. 7:事務所内の中央25度C、サーバラック内35度C～40度C未満) ■エコ商品の購入金額比率(2005年度2月年度集計):事務用品(22%)、コンピュータ及び備品(30%) 合計(29%) ■リサイクル廃棄選定業者委託による廃棄実施(3回)



6. 環境保全活動の取組み、結果の評価

環境への取組み状況を「取組み自己チェック」により行い、その結果の評価を

- 1) 初期環境レビュー時取組み自己チェック(*1)との比較評価(取組項目数、評価点、評価合計点)
- 2) 取組み内容の評価(評価点/評価合計点)にて、まとめたものを下表5.1に示します。

*1) 添付資料 A-4 参照

表5.1 取組みの自己チェックとその結果の評価

取組チェックシート		取組			結果の評価	
大項目	中項目	項目数	*評価点	*評価合計点		
事業活動への		6	10	16	■事業活動へのインプットに関する項目 1) 初期環境レビュー時取組み自己チェック時との比較評価 <input type="checkbox"/> 取組項目数: 1項目増加(5→6) 省資源・グリーン調達項目で 事務用品等のグリーン調達のための購入先はグリーン商品が明示されるところからの調達として取組み項目数が1つ増加した。 <input type="checkbox"/> 評価点: 3点増加(7→10) <input type="checkbox"/> 評価合計点: 2点増加(増加取組項目重要度1) 2) 取組み内容の評価 62%(評価点/評価合計点=10/16).....初期環境レビュー時(50%)	
インプット	・省エネルギー、新エネルギー使用の拡大	2	3	4		
に関する項目	・省資源、グリーン購入	4	7	12		
	・節水、水の効率的利用	0	0	0		
事業活動からの		15	37	46	■事業活動からのアウトプットに関する項目 1) 初期環境レビュー時取組み自己チェック時との比較評価 <input type="checkbox"/> 取組項目数: 1項目増加(14→15) 廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理項目で、 マニフェスト発行要件でのリサイクル廃棄委託を行い取組項目数が1つ増加した。 <input type="checkbox"/> 評価点: 14点増加(23→37) <input type="checkbox"/> 評価合計点: 6点増加(増加取組項目重要度3) 2) 取組み内容の評価 80%(評価点/評価合計点=37/46).....初期環境レビュー時(58%)	
アウトプット	・二酸化炭素の排出抑制、大気汚染等の防止	2	12	12		
に関する項目	・化学物質対策	0	0	0		
	・製品の開発・設計等における環境配慮	0	0	0		
	・廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理	12	24	32		
	・排水処理	1	1	2		
	・輸送に伴う環境負荷の低減	0	0	0		
	・建築物の建築・解体、開発事業に当たった環境配慮	0	0	0		
環境経営システム		10	11	20	■環境経営システムに関する項目 1) 初期環境レビュー時取組み自己チェック時との比較評価 <input type="checkbox"/> 取組項目数: 増減なし <input type="checkbox"/> 評価点: 11点増加(0→11) <input type="checkbox"/> 評価合計点: 増減なし 2) 取組み内容の評価 55%(評価点/評価合計点=11/20).....初期環境レビュー時(0%)	
に関する項目	・環境への取組のための仕組み・体制の整備	7	9	14		
	・環境教育、環境活動の推奨等	1	0	2		
	・情報提供、社会貢献、地域の環境保全	2	2	4		
	・環境ビジネス、技術開発	0	0	0		
	・国際協力及び海外事業における配慮	0	0	0		
	・投資・融資における環境配慮	0	0	0		
		計	31	58	82	■全体 1) 初期環境レビュー時取組み自己チェック時との比較評価 <input type="checkbox"/> 取組項目数: 2項目増加 <input type="checkbox"/> 評価点: 30点増加(28→58) <input type="checkbox"/> 評価合計点: 8点増加(74→82) 2) 取組み内容の評価 70%(評価点/評価合計点=58/82).....初期環境レビュー時(38%)
	重要度: 効果大(3)、効果中(2)、効果(1)					
	取組度: 十分(2)、不十分(1)、未対応(0)					
	*評価点: 重要度×取組度で算出					
	*評価合計点: 重要度×2で算出					



7. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

当社の事業活動では、化学物質の使用や工業排水・排気等はなく、環境関連法規は、オフィス家具やOA機器などの購入品の廃棄に関して調査し、右記のような手順を作成して廃棄処理を行いました。

2004年度に実施した廃棄処理(*1)に関して、環境関連法規の関連機関からの法律違反についての指摘等はなく、訴訟等も同様に無かったことを報告します。

*1) 2004年度実施の廃棄処理

2004年度は、大分類Cとして分類した廃棄物の廃棄を3回実施しました。各処理での廃棄物管理票(マニフェスト)は、以下のとおりです。

廃棄物管理票(マニフェスト) 交付年月日:平成16年8月20日
 交付番号:2520203906 | 3 整理番号:129040
 最終処分終了年月日:平成16年8月28日 照合確認:平成16年9月17日

廃棄物管理票(マニフェスト) 交付年月日:平成16年11月26日
 交付番号:2520203377 | 6 整理番号:131455
 最終処分終了年月日:平成16年12月4日 照合確認:平成16年12月17日

廃棄物管理票(マニフェスト) 交付年月日:平成17年2月4日
 交付番号:2522085750 | 2 整理番号:133163
 最終処分終了年月日:平成17年2月12日 照合確認:平成17年3月2日

一般廃棄物以外の廃棄物に関する廃棄手順について

一般廃棄物以外の廃棄物に関する処理は、環境管理責任者が行うものとする。

- 1) 廃棄対象の大分類化と廃棄台帳の作成
 - 大分類A: オフィス家具(机、椅子、棚等)
 - 大分類B: 特定家庭用機器(エアコン、テレビ、電気冷蔵庫、電気洗濯機)
 - 大分類C: 電子機器・情報処理機器等
 などの大分類を行い廃棄台帳を作成し記載する。
- 2) 廃棄対象の大分類毎の最新関連廃棄処分規制の確認を行う。
 - 大分類毎に関連廃棄処分規制を確認する。
 - 分類A: 廃棄物の処理及び清掃に関する法律(「廃掃法」)等
 - 分類B: 家電リサイクル法等
 - 分類C: 廃棄物の処理及び清掃に関する法律(「廃掃法」) 循環型社会の形成の推進のための基本法等
- 3) 廃棄対象の大分類毎の処分・依頼を行う。
 - 契約回収業者への個別処分依頼
 - リサイクル業者または広域再生利用指定産業廃棄物処理業者への依頼などを決定し、処理依頼先及び対象品明細を廃棄台帳に記述し保管する。(依頼先や依頼方法で規制がある場合には、該当規制に従うものとする)
- 4) 廃棄対象が資産管理対象の場合は資産管理台帳の更新を行う。
 - 廃棄対象物が資産管理登録対象である場合には 処分(売却、廃棄)についての更新処理を行う

関連情報	情報収集先
1 家電リサイクル法や循環型社会の形成の推進のための基本法	環境省>廃棄物・リサイクル対策 http://www.env.go.jp/recycle/index.html
2 事業活動に伴って発生する廃棄物の処理について	横浜市 http://www.city.yokohama.jp/me/cplan/epb/haiki/page01/gigyokatudou.html#manufe
3 環境省関係	環境省TOP 環境省 http://www.env.go.jp/index.html 環境管理システム、グリーン購入法等 環境省>総合環境政策 http://www.env.go.jp/policy/index.html EA21等 事業者の広場 事業者の環境への取組 http://www.env.go.jp/policy/j-hiroba/04-5.html
4 横浜市関係	横浜市TOP 横浜市 http://www.city.yokohama.jp/front/welcome.html 「環境」関係サブメニュー 横浜市>環境 http://www.city.yokohama.jp/front/sub/epb.html#1 事業系ごみ関係 横浜市>事業系ごみ http://www.city.yokohama.jp/me/pcpb/jigyo/index.html

A-1. 初期環境レビュー

EA21への取り組み前の 2001～2003年度(3月から2月)の3カ年の平均値 を 以下に初期環境レビュー結果として示します。

年間: 2001～2003年度平均

総エネルギー投入量			総物質投入量		
購入電力	263.71	KMJ	資源投入(廃棄:紙、プラ、厨芥)	426	Kg
ガソリン給油	20.33	KMJ	循環資源投入(廃棄:カン・ビン)	84	Kg
			その他(コンピュータ及び備品)	33	Kg



INPUT

INPUT | 電力、コンピュータ、事務用品、ガソリン

オフィス(管理・開発)

電力、コンピュータ、事務用品、ガソリン

管理(営業・企画・財務・経理・総務等)
ソフトウェア開発・ネットワーク管理



二酸化炭素、廃棄物、排水

対象外

水資源投入量
化学物質排出量・移動量
総製品生産量又は総製品販売量

OUTPUT

OUTPUT | 二酸化炭素、廃棄物、排水

年間: 2001～2003年度平均

廃棄物等総排出量		温室効果ガス排出量(二酸化炭素)		総排水量	
再生利用(カン・ビン)	84 Kg	11.82	t-CO2	下水道	2880 L
焼却(紙・プラ・厨芥)	426 Kg			BOD	0.95 Kg
産業廃棄物(コンピュータ及び備品)	50 Kg				

* 廃棄物等総排出量、温室効果ガス排出量、総排水量 は EA21での必須項目

A-2. 環境への負荷の把握・評価項目の検討

事業活動がオフィス内でのコンピュータを使用した管理・開発業務であることから環境への負荷を以下のINPUT、OUTPUT項目で現状調査・検討しました。

INPUT	電力、コンピュータ、事務用品、ガソリン
OUTPUT	二酸化炭素、廃棄物、排水

環境負荷把握のための活動内容の対象は、以下の6項目としました。

- 「エネルギーの消費」(電力、ガソリン)、
- 「原材料、部品、梱包材等の消費」(コンピュータ、事務用品)
- 「化石燃料等の燃焼」(電力、ガソリン、廃棄物)
- 「廃棄物の排出」(一般廃棄物、産業廃棄物:コンピュータ、事務用品)
- 「廃棄物の最終処分」(産業廃棄物:コンピュータ、事務用品)
- 「排水」(事務所内生活排水)

	活動内容	負荷チェック	2001-2003年度調査・検討	取組チェック
1	エネルギーの消費	<ul style="list-style-type: none"> ■ 総エネルギー投入量 ■ 購入電力量、化石燃料消費量、新エネルギー量 等 	購入電力、ガソリン給油量を調査	<ul style="list-style-type: none"> ■ 省エネルギー ■ 新エネルギー使用の拡大
2	原材料、部品、梱包材等の消費	<ul style="list-style-type: none"> ■ 総物質投入量 ■ 循環資源投入量、天然資源投入量等 	廃棄物の排出計算の利用 PPC用紙購入量から重量を調査 コンピュータ関係購入量から概算推定重量を調査	<ul style="list-style-type: none"> ■ 省資源 ■ グリーン購入
3	水の消費	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 水資源投入量 <input type="checkbox"/> 上水、工業用水、地下水等 	製品生産に伴う用水はないため調査対象外とする	<input type="checkbox"/> 節水、水の効率的利用
4	化石燃料等の燃焼	<ul style="list-style-type: none"> ■ 温室効果ガス排出量 ■ 二酸化炭素、メタン 等 	購入電力、ガソリン、産業廃棄物(マシン等)を調査 廃プラには、一般:ペットボトル推定量、 産廃:コンピュータ等産廃依頼分を使用	■ 二酸化炭素の排出抑制
5	化学物質の使用・排出	<input type="checkbox"/> 化学物質排出量・移動量	製品生産に伴う化学物質原料使用はないため調査対象外とする	<input type="checkbox"/> 化学物質対策
6	製品の生産・販売	<input type="checkbox"/> 総製品生産・販売量	サービス業務主体のため調査対象外とする	<input type="checkbox"/> 製品の開発・設計等における環境配慮
7	廃棄物の排出	<ul style="list-style-type: none"> ■ 廃棄物等総排出量 ■ 有価物、一般廃棄物、産業廃棄物等 	2004年6月21日からの指定ゴミ袋による従量制課金の額から以前の定額料金での排出量を逆算し購入PPC用紙重量を基準に	■ 廃棄物の排出抑制、リサイクル
8	廃棄物の最終処分	■ 廃棄物最終処分量	分別単位に推定重量を算出。 産業廃棄物は2002年11月依頼廃棄分で算出。	■ 適正処理
9	排水	■ 総排水量・水質汚濁物質排出量	生活排水として推定検討 台所合成洗剤、L尿(BOD)換算	■ 排水処理



A-3. 環境への負荷の自己チェックの実施

総エネルギー投入量項目での購入電力及び化石燃料 以外の算出項目は、推定計算により算出しています。

(記録: BM_EA21_InitialReview.xls 初期環境レビュー用既存情報調査(2001~2003年度+2004年度一部))

(記録: BM_EA21_att_01.xls 初期環境レビューでの環境負荷自己チェック)

	単位	2001年	2002年	2003年	3カ年平均	算出方法等	
① 総エネルギー投入量	購入電力	KMJ	244.56	253.98	292.61	263.71	使用電力量
	化石燃料	KMJ	16.51	18.11	26.38	20.33	給油ガソリン量
	新エネルギー	MJ					
	その他	MJ					
② 総物質投入量	資源投入量	Kg	464.4	348.24	464.4	425.68	廃棄物量計算(紙、プラ、厨芥)から
	循環資源投入量	Kg	91.8	68.76	91.8	84.12	廃棄物量計算(カン・ビン)から
	その他	Kg	12.6	29.6	55.4	32.53	購入品推定重量換算より
③ 水資源投入量	上水	m3					対象外
	工業用水	m3					
	地下水	m3					
【④ 温室効果ガス排出量】	【二酸化炭素】	t-CO2	10.72	11.53	13.23	11.82	電力、ガソリン及び計算廃棄物量から 一般(廃プラ)にはペットボトル推定量を使用 産業(廃プラ)には、産廃依頼分を使用
⑤ 化学物質排出量・移動量	大気への排出量	t					対象外
	公共用水域への排出	t					
	土壌への排出	t					
⑥ 総製品生産量又は 総製品販売量	製品生産量	t					対象外
	環境負荷低減に資する	t					
	容器包装使用量	t					
【⑦ 廃棄物等総排出量】	再使用	Kg					購入PPC用紙基準で他分別量を推定算出
	再生利用	Kg	91.8	68.76	91.8	84.12	かん・ビン
	熱回収	Kg					
	単純焼却	Kg	464.4	348.24	464.4	425.68	紙・プラ・厨芥ごみ
	その他	Kg					
⑧ 廃棄物最終処分量	最終処分量	Kg		150		50	産業廃棄物(コンピュータ等産廃依頼分)
【⑨ 総排水量】	公共用水域	m3					排水推定、BOD換算
	下水道	m3	2.88	2.88	2.88	2.88	台所合成洗剤 0.22g/mL
	BOD	g	9478.8	9478.8	9478.8	9478.8	し尿 13g/人・日

○【 】で囲んだ項目が必須項目です。なお、総排水量の把握が困難な場合には「水資源投入量」が把握必須項目となります。



A-4. 環境への取り組みの自己チェックの実施

環境への取り組みチェックは、現時点(EA21取り組み前)での環境への取り組み状況を認識することにより、今後実施していくべき具体的な取り組み(実施可能なEA21)を明らかにすることを目的とします。

取り組み自己チェックの実施から課題度を付与して取り組み課題概要を列挙しました。
新規の取り組み課題としては、環境経営(管理)システムに関する項目に集約されています。
既に実施の項目は、環境経営(管理)システムとして管理、強化での継続となります。

(記録: BM_EA21_att_02.xls 初期環境レビューでの環境取組自己チェック)

取り組みチェックシート 大項目	中項目	EA21取り組み以前			EA21取り組み開始課題 *課題度
		取組項目数	*評価点	*評価合計点	
事業活動へのインプットに関する項目		5	7	14	■事業活動へのインプットに関する項目
	・省エネルギー、新エネルギー使用の拡大	2	2	4	1 エネルギー効率の高い機器(照明含)の積極的導入
	・省資源、グリーン購入	3	5	10	1 再生紙利用、エコマーク商品優先購入
	・節水、水の効率的利用	0	0	0	3 PCリサイクル等リサイクル対応マシンの購入、サーバ等のリース化
事業活動からのアウトプットに関する項目		14	23	40	■事業活動からのアウトプットに関する項目
	・二酸化炭素の排出抑制、大気汚染等の防止	2	9	12	3 照明節電と温調(冬季以外の24時間運転:サーバ管理)
	・化学物質対策	0	0	0	2 廃棄物の分別、減容量化
	・製品の開発・設計等における環境配慮	0	0	0	1 プリントナーカートリッジ等リサイクル活用
	・廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理	11	13	26	
	・排水処理	1	1	2	■環境経営システムに関する項目
	・輸送に伴う環境負荷の低減	0	0	0	1 ●関係法規制の最新情報収集
・建築物の建築・解体、開発事業に当たっての環境配慮	0	0	0	1 ●管理体制の構築	
環境経営システムに関する項目		10	0	20	1 ●活動計画、実行、運用
	・環境への取組のための仕組み・体制の整備	7	0	14	●啓蒙、教育
	・環境教育、環境活動の推奨等	1	0	2	
	・情報提供、社会貢献、地域の環境保全	2	0	4	
	・環境ビジネス、技術開発	0	0	0	
	・国際協力及び海外事業における配慮	0	0	0	
	・投資・融資における環境配慮	0	0	0	
	計	29	28	74	
				*課題度	
重要度:効果大(3)、効果中(2)、効果(1)				課題度1:現行取組は継続、未取組は新規取組から	
取組度:十分(2)、不十分(1)、未対応(0)				●は「新規取り組み」	
				課題度2:現行取組を強化継続	
*評価点:重要度X取組度で算出				課題度3:現行取組を管理維持	
*評価合計点:重要度x2で算出					



B-1. 環境数値目標の管理・集計方法

記録(2004年度)[BM_EA21_2004CARReport.xls]から「進捗報告」を抜粋、編集

(2004年3月から5月までは、分別収集計量は実施していません)

	単位(換算)	初期レビューでの	2004年度	適用前計算値使用	2004.3~5 +	比率	備考	
		平均または最大	目標値/年	目標値/月	2004.3~5	2004.6~2005.2		合計/
		目標値/年	目標値/月	計算値含/月	合計	年間目標		
① 総エネルギー投入量	購入電力	KMJ	321.871	26.822		320.088	99%	
	電灯(01)	kWH(9.83MJ/kWH)	電力: 初期(292.61) * 1.1		調査計上	21187		電灯電力
	動力(02)	kWH(9.83MJ/kWH)			調査計上	9690		温調等動力電力
	電灯(11)	kWH(9.83MJ/kWH)			調査計上	1686		共用電灯等
	電気料金	基本料金(7663)+使用料金			調査計上	¥482,308		支払額
	化石燃料	KMJ	65.95	5.495		34.453	52%	
	車両ガソリン	KMJ	燃料: 初期(26.38) * 2.5		調査計上	995.94		給油量
	車両燃料費	L(34.6MJ/L)			調査計上	¥114,271		支払額
② 総物質投入量	資源投入量	Kg	426	35.5	38.7	237.44	56%	
	購入PPC用紙	Kg(1.25*2.162Kg/A4:500)	99	8.25	9	74.34		購入品のPPC用紙重量換算
	厨芥	⑦と同じ	253	21.083	22.95	116.85		投入量=廃棄量
	ペットボトル	⑦と同じ	74	6.166	6.75	27.75		投入量=廃棄量
	他プラスチック類	⑦と同じ	0	0	0	18.5		投入量=廃棄量
	循環資源投入量	Kg	84	7	7.65	30.95		
	カン	⑦と同じ	25	2.083	2.25	9.75		投入量=廃棄量
	ビン	⑦と同じ	59	4.916	5.4	21.2		投入量=廃棄量
	その他	Kg	33	2.75	1.5	103.1		
	購入オフィス家具等	リースを除く			調査計上	53.6		概算重量
	購入電子・情報機器等	リースを除く			調査計上	49.5		概算重量
【④ 温室効果ガス排出量】	【二酸化炭素】	t-CO2	18.522	1.543		16.275	88%	
	購入電力	kWH(0.378Kg-CO2/kWh)	CO2:初期(13.23) * 1.4		計上値から換算	32563		計上値から換算
	車両ガソリン	L(2.32166Kg-CO2/L)			計上値から換算	995.94		計上値から換算
	一般廃プラ	Kg(2.68Kg-CO2/Kg)			計上値から換算	46.25		計上値から換算
	産業廃プラ	Kg(2.60Kg-CO2/Kg)			対象なし	590.6		計上値から換算
【⑦ 廃棄物等総排出量】	再使用	Kg				16		
	OA機器	Kg			対象なし	16		リサイクルショップ引取分等
		Kg			対象なし	0		
	再生利用	Kg	84	7	7.65	30.95	37%	
	カン	Kg	25	2.083	2.25(推定計算値)	9.75		分別収集計量
	ビン	Kg	59	4.916	5.4(推定計算値)	21.2		分別収集計量
	OA機器					0		
	熱回収	Kg						
	単純焼却	Kg	426	35.5	38.7	256.1	60%	事業用指定ゴミ袋での廃棄
	紙	Kg	99	8.25	9(推定計算値)	93	94%	分別収集計量
	厨芥	Kg	253	21.083	22.95(推定計算値)	116.85	46%	分別収集計量
	ペットボトル	Kg	74	6.166	6.75(推定計算値)	27.75	38%	分別収集計量(一般廃プラ計上)
	他プラスチック類	Kg	0	0	分別なし	18.5		分別収集計量(一般廃プラ計上)
	その他(初期*10)	Kg	500	41.666	0	590.6	118%	
	粗大ゴミ	Kg	0	0	対象なし	0		対象としない
	産業廃棄物	Kg	50	4.166	対象なし	401.6		収集計量(産業廃プラ計上)
	ゴミ容量	L	8100	675	675	4565	56%	
	指定ゴミ袋45L	L(45L*使用率)			675(推定計算値)	3555		減容化参考目録値
	指定ゴミ袋70L	L(70L*使用率)			0	1010		減容化参考目録値
⑧ 廃棄物最終処分量	最終処分量	Kg	500	41.666	0	590.6	118%	
	産業廃棄物	⑦と同じ	50	4.166	対象なし	590.6		
【⑨ 総排水量】	下水道	L(推定値)	2880	240	240	2880		推定(参考)固定値
	BOD	Kg(推定値)	0.95	0.079	0.079	0.948		推定(参考)固定値

